

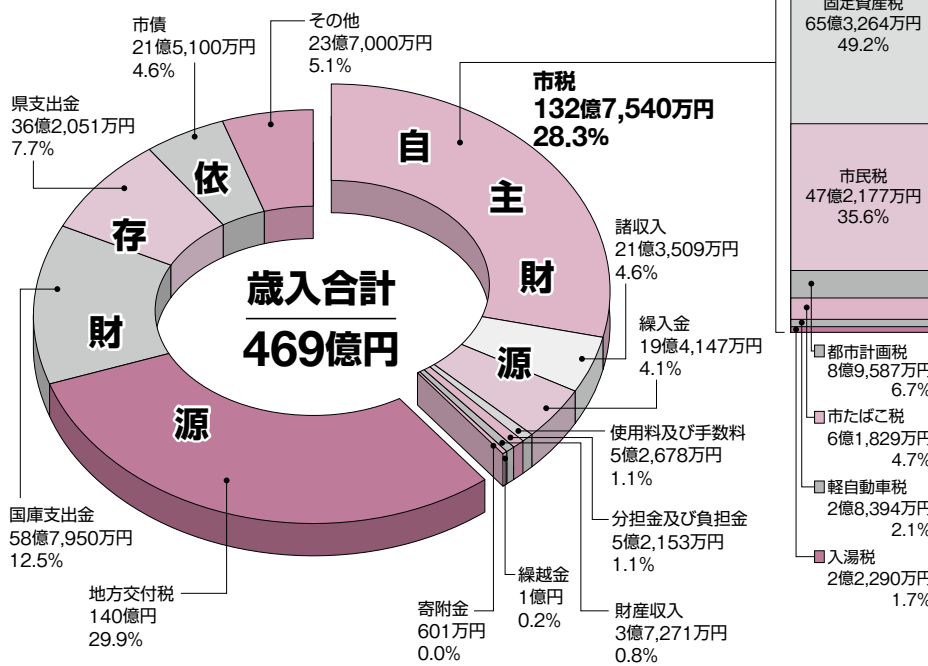
平成28年度 予算

人と自然、そして文化がおりなす 活力とやさしさがあふれる 飛驒高山を目指して

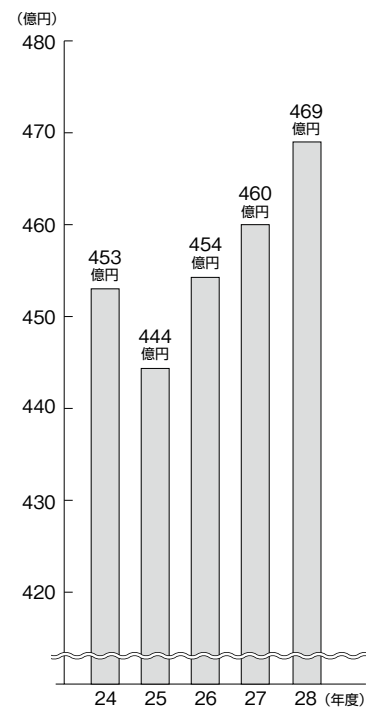
総額777億円のあらまし

市では、2月29日から開会した市議会定例会に、一般会計469億円、特別会計・企業会計308億円余の平成28年度予算案を提案しました。

歳入



●一般会計当初予算の推移



新年度予算案のポイント

市制施行80周年の記念すべき節目の年であり、さらなる飛躍が期待される平成28年度の予算は、第八次総合計画の基本理念である市民と行政が「協働」してまちづくりに取り組み、新たなまちの魅力や個性を「創造」し、将来につなげていくことができる「自立」したまちを目指し、経済対策、環境対策、文化振興をキーワードに、各種施策にメリハリをつけて予算編成を行いました。

特に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、大学連携によるサテライトキャンパスの設置やインターンシップの受入支援、UIJターン就職者に対する支援など、若者の地元就労・定住を促進するほか、伝統的工芸品産業の後継者育成支援の拡充、飛驒高山森の仕事人養成塾の開設など、産業を次世代に継承していくため、後継者育成支援の充実を図ることとしています。

さらに、環境対策として、自然エネルギー利用日本一の環境都市を